

主張

4月に入り、値上げラッシュが暮らしと営業を直撃しています。国会では自公と維新が2025年度予算を成立させましたが、暮らしを支える具体策はなく社会保障や文教予算は削減の一方で、軍事費が過去最大8兆7000億円の大軍拡予算です。新婦人は「大軍拡とんでもない」と、税金は暮らしの拡充に戦

争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、暮らしを守る政治への転換を求める請願署名(軍拡反対憲法署名)を、日本政府に核兵器禁止条約参加を求める署名とともに「平和の2署名」として

とろくみ、対話を広げています。2022年に決定した「安保3文書」にもとづき、5年間で軍事費に43兆円をつぎこむ計画ですが、石破政権はアメリカとの間で27年度以降も日本が大軍拡を続け

で軍事作戦に参加する自衛隊の統合戦司令部発足など、日米の軍事での一体化が急ピッチです。日本学術会議法人化法案やサイバー法案の強行までねらい、まさに戦争国家への暴走です。

憲法違反の大軍拡で平和を壊し、命と暮らしをおしつぶす石破政権に、戦後・被爆80年、二度と戦争はしないと誓った戦後の原点に立ち戻り憲法生かした政治と声を上げましょう。署名を上げ、5月3日の憲法集会を成功させ、7月の参議院選挙で石破政権にきびしい審判を下しましょう。

元中央委員 中村美智子さん死去
新日本婦人の会元中央委員、東京都本部元会長の中村美智子さんが3月20日に亡くなり、家族葬がおこなわれました。94歳でした。中村さんは、1965年に東京都本部専従となり、94年まで組織部長、事務局長、会長を歴任。1967年〜93年中央委員、75年〜90年中央常任委員を務めました。

要求いっぱい、会員大募集!

小組でのしんぶんタイムが魅力



マージャン小組で卓ごとにタイム

埼玉・熊谷支部

支部は13班あり、ウクレレ、リメイク、ヨダ、公民館や地域にも同じようなサークルがたさんあり、2つ3つのサークルを掛け持ちしている人も少なくありません。そのうちで新婦人が他のサークルと違うところは、「新婦人しんぶんがあること」

「全国に仲間がいて、いろいろな運動をしている団体だということだね」と委員会でも話しています。

全国のとろくみを知らぬ機会がない会員も、新婦人しんぶんを読めば視野が広がります。「しんぶんタイム必須ね」と共通の思いになってきました。いまでは、毎月定期開催の10小組でしんぶんタイムをとっています。



近くの公園で班会・しんぶんタイムも(むつみ班で)

高くて農家の収入は増えていない」という話になるほど、政府の農業政策に関心が高まりました。麻雀小組が始まった頃には、「政治のことはあまり関心がない」「選挙に行かない」「署名をしたことがない」という人もいました。昨年、しんぶんタイムで「お米が品薄で高くなった」と話題になり、米農家の会員さんの「肥料とか経費が上がっているの、お米が

小組に出向いて

麻雀小組が始まった頃には、「政治のことはあまり関心がない」「選挙に行かない」「署名をしたことがない」という人もいました。昨年、しんぶんタイムで「お米が品薄で高くなった」と話題になり、米農家の会員さんの「肥料とか経費が上がっているの、お米が

おしゃべりの中で物価やジェンダー問題、家庭の愚痴が政治と結びついていることに気づくのもタイムです。署名用紙を持ち帰り家族に話したとか、友だちに書いてもらったなど変化を感じています。心配事の相談がここのらでできるなど、他のサークルにないつながらりや信頼関係がうまれるのも新婦人です。

おしゃべりの中で物価やジェンダー問題、家庭の愚痴が政治と結びついていることに気づくのもタイムです。署名用紙を持ち帰り家族に話したとか、友だちに書いてもらったなど変化を感じています。心配事の相談がここのらでできるなど、他のサークルにないつながらりや信頼関係がうまれるのも新婦人です。

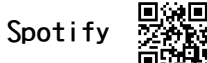
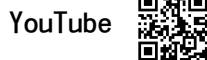
おしゃべりの中で物価やジェンダー問題、家庭の愚痴が政治と結びついていることに気づくのもタイムです。署名用紙を持ち帰り家族に話したとか、友だちに書いてもらったなど変化を感じています。心配事の相談がここのらでできるなど、他のサークルにないつながらりや信頼関係がうまれるのも新婦人です。

◆まだまだ進化中です

初めは録音に手間どったり、話が長かったり。「動画にしては?」「中央委員会決定を読む?」など活動に生かせるよう、試行錯誤しながら定期的な配信を目指しています。

◆3つの方法で聞けます

インターネットのYouTube、Spotify、Apple Podcastの3つで配信。新しい配信は会のホームページのニュースでお知らせします。そのままリンクから視聴可能。「はとラジ」で検索しても。好きな媒体で聞き、友だちに「ちょっと聞いてみて」とLINEでシェアしたり、YouTubeのコメント欄などで感想をお寄せください。



録音風景

エンダー平等教育」では、該当記事(新婦人しんぶん24年12月15日号)を寄稿した社会科教員の田中めぐみさんが「聞いて面白かった」と、自身の講演内でも紹介。「Vol.13次世代ミニ交流より弁護士太田伊早子さんの話」では、熱い話しぶりが心に響くと再生数がふえています。「家事をしながら聞ける」「小組のみんなで聞きながら作業できる」と好評です。

はとラジ

◆活動を声で届けたい

「新婦人の活動を声で、わかりやすく届けよう!」。この思いから生まれた「はとラジ」。新婦人がいま、どんなことをしているのかを音声で紹介します。聞いたら同じテーマでおしゃべりできるよう、中央本部の次世代を中心に新婦人しんぶんを読み合わせ、感想を語り合う内容にしています。記事の裏話を紹介することも。Vol.16までアップしています。

◆さっそく反響が

「Vol.12 対話し考え合った、男子校でジ

＜ポッドキャスト＞インターネットを通じて配信するラジオ番組のようなもの。主にスマートフォンで再生。いつでも視聴可能。